

CEのための

“今さら聞けない” 病態生理

Q&A

医療機器は、患者の病態を踏まえて導入され、検査・治療が行われます。検査・治療は、医療機器を使用する前に患者の情報を収集し、多職種でカンファレンスを行い、連携して実施されますが、患者情報には病態も含まれています。また、慢性血液透析や在宅医療などの業務では、患者や家族と接する中で、質問される場合も想定されます。そのため、臨床工学技士においては、「なぜ、この患者にこの医療機器を使用するのか、なぜこの設定で行うのか」について、病態の面からも理解することが必要です。

本号では、臨床工学技士の業務に関連する呼吸器・泌尿器（腎臓）・循環器・消化器・代謝・脳の疾患の病態生理について、Q & A 形式でイラストを用いて解説します。

医療機器を使用する患者により適切な医療を提供する一歩、またはおさらいとして、ご活用いただけますと幸いです。

クリニカルエンジニアリング編集室編

■引用・参考文献

- 1) 堀川宗之：エッセンシャル解剖・生理学 改訂第3版, p96, 98, 99, 143, 146, 148, 169, 175, 231, 235, 学研メディカル秀潤社, 2020
- 2) 落合慈之(監), 石原照夫(編)：呼吸器疾患ビジュアルブック, 学研メディカル秀潤社, 2011
- 3) 落合慈之(監), 渋谷祐子, 志賀淑之(編)：腎・泌尿器疾患ビジュアルブック 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2017
- 4) 落合慈之(監), 山崎正雄, 柴田 講(編)：循環器疾患ビジュアルブック 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2017
- 5) 落合慈之(監), 針原 康, 松橋信行, 小西敏郎(編)：消化器疾患ビジュアルブック 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2014
- 6) 落合慈之(監), 林 道夫, 渋谷祐子(編)：糖尿病・内分泌疾患ビジュアルブック 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2018
- 7) 落合慈之(監), 森田明夫, 吉澤利弘(編)：脳神経疾患ビジュアルブック, 学研メディカル秀潤社, 2009